

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【総務部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩山公園整備について総合的な活性化計画が開始されたが、道路整備や旧漆芸美術館の活用、盛岡動物公園の活性化等について、市民への周知と意見聴取をこまめに行っていたきたい。</li> </ul>	<p>岩山公園につきましては、平成24年度に作成した「岩山公園整備基本計画」に基づき整備を進めておりますが、さらに岩山エリア全体の活性化を目指し「岩山エリア公民連携事業基本計画」の策定中であります。</p> <p>アクセス道路となる市道岩山2号線につきましては、平成22年度から道路改良事業に着手しており、歩道が未整備である新庄浄水場付近から旧漆芸美術館方向の約750m区間を事業区間として、平成29年度までに新庄浄水場付近から市道つつじが丘団地線までの約180mが完成しております。</p> <p>なお、平成30年度は市道つつじが丘団地線との交差点付近において一部工事を行っており、残り約570m区間についても、早期に整備するよう努めてまいります。</p> <p>旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。</p> <p>また、盛岡市動物公園につきましては、公民連携事業により民間ノウハウを活用することで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的とした再生事業計画（案）の策定に当たって、有識者による検討会を一般公開とし広く意見聴取したほか、更に、市民の皆様を対象とした説明会を開催するなどして意見の聴取や周知に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課，都市整備部公園みどり課，建設部道路建設課）</p>
<p>【商工観光部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。</li> </ul>	<p>（仮称）新盛岡バスセンター整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。</p> <p>整備事業の検討にあたっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら、検討してまいります。</p> <p>なお、整備までの期間におきましては、仮設乗降施設の設置により、バスターミナル機能を確保しているところでございます。また、整備予定地の一部を地元商店街等で構成される団体に貸し出し、「地域活用ゾーン（愛称：SIDE-B）」として賑わいの創出に資するよ</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p><input type="checkbox"/> 国道 46 号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p><input type="checkbox"/> 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p><input type="checkbox"/> 市道津志田白沢線の矢巾町境からの道路建設の着手を早期にされたい。</p> <p style="text-align: right;">P 5</p> <p><input type="checkbox"/> 狭隘道路の改良の促進。</p>	<p>う活用を図っております。 (商工観光部経済企画課, 建設部交通政策課, 都市整備部市街地整備課)</p> <p>国道46号線は, 地域高規格道路「盛岡秋田道路」の一部として位置づけられており, 岩手・秋田両県の広域地域間交流促進のため, これまでも国に対し早期整備を要望しているところです。今後も沿線自治体で構成する国道整備促進期成同盟会を通じて, 機会を捉えながら地域高規格道路化を国に要望してまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課)</p> <p>大型の山車が運行できるような電線のあり方につきましては, 道路上の架空線が無くなる無電柱化が有効であると存じております。 なお, 市における無電柱化は中心市街地や歴史的街並みを形成する地区で取り組んでおり, 平成30年度は幹線道路整備に合わせ, 都市計画道路 明治橋大沢川原線, 都市計画道路 盛岡駅南大通線及び市道岩手公園開運橋線で実施しており, 今後は大慈寺地区景観地区内の市道南大通二丁目南大橋線でも進めていく予定としております。 (建設部道路建設課)</p> <p>山車につきましては, 市内一円を巡行するため, 一般道における構造物等の高さ制限を受けるところもあり, 大型の山車運行については, これら構造物の撤去等の費用が必要となりますことから, 観光政策としての考え方を踏まえて研究してまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課)</p> <p>市道津志田白沢線の現在着手をしている区間は都南文化会館付近の北側約300mであり, 南側の矢巾町側の区間約1,580mを平成32年度までに着手をすることとしております。 南側区間の事業の進め方につきましては, 事業の整備効果がより早く実現する方法等を検討してまいります。 (建設部道路建設課)</p> <p>幅員が 4 m 未満の市道につきましては, 地元が主体となって進める, 「狭あい市道整備</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 5</p> <p>□ 中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。自転車利用の街づくりを推進されたい。</p>	<p>促進事業制度」があります。拡幅用地の寄附が前提となりますが、その拡幅用地における測量及び物件移設等の経費に対し、補助金を交付する制度ですので、活用等については、道路管理課までご相談いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p> <p>市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケットエリア等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。</p> <p>今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んでまいります。</p> <p>また、盛岡市総合交通計画の基本的方針である「マイカーの抑制と公共交通・自転車の利用促進」や上記条例の規定に基づき、市民に身近な交通手段である自転車の安全利用と利用促進を図るため、引き続き、自転車走行空間の整備等に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 5</p> <p>□ 田沢湖線前潟駅の着工をされたい。</p>	<p>J R 田沢湖線前潟駅につきましては、平成24年度に J R 東日本に基本計画調査を委託し、新駅想定乗車人員は見込まれるとの調査結果を得ております。また、平成28年度に行った事業効果の検証や29年度に J R 東日本に委託した基本調査設計を踏まえた費用便益分析により、事業実施は妥当であると判断しておりますが、多額な事業費の確保等の課題もありますことから、今後、関係機関等と協議しながら、事業化の判断をしてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 5</p> <p>□ IGR 下田駅の早期着工を図られたい。</p>	<p>I G R 下田駅につきましては、見込まれる利用者数が少ないことと事業費の確保が課題となっており、今後の事業のあり方について、住民の意見を伺うため、平成27年4月、5月及び11月の3度にわたり地元懇談会を開催したところです。</p> <p>今後も地元の意見を踏まえ、新市建設計画に位置付けの他事業の精算を加えながら、新駅設置の可能性について検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>P 5 □ 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図りたい。</p>	<p>岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては、公共交通機関へ転換しやすい環境づくりのための取り組みとして、市総合交通計画にその設置可能性の検討を位置付けておりますが、もりおか交通戦略では長期的な課題としており、今後、周辺の市街化の状況等をふまえながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p>(建設部交通政策課)</p>
<p>P 5 □ 山田線全体の活性化を図りたい。また宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。</p>	<p>山田線の活性化につきましては、地域公共交通網形成計画の策定の中で、利用促進に係る施策について検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、活性化協議会の設置につきましては、県、宮古市の動向を踏まえながら、必要に応じて検討してまいるとともに、宮古までの増発や観光活用につきましては、観光交流課と連携し、機会を捉えながらJR東日本に要望してまいりたいと存じます。</p> <p>(建設部交通政策課)</p>
<p>P 5 □ 東北本線の活性化（IGR と相互乗り入れ）や701系電車に転換クロスシートの設置、増結を要請されたい。</p>	<p>相互乗り入れにつきましては、事業者間の費用負担の課題があると伺っております。</p> <p>また、転換クロスシートにつきましては、JR東日本からは、701系電車は、朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき、スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており、保有車両を最大限活用している現状では、混雑時と日中を区別して運用することが困難なため、転換クロスシート化、増結は難しいと伺っております。</p> <p>(建設部交通政策課)</p>
<p>P 5 □ IGRの車両更新には転換クロスシートの導入を促されたい。</p>	<p>転換クロスシートの導入につきましては、IGRからは、今後の車両更新時に検討を行ってまいりたいと存じます。</p> <p>(建設部交通政策課)</p>
<p>P 5 □ 仙北町駅橋上化の早期実現。</p>	<p>仙北町駅の橋上化につきましては、整備に多額の費用やJR東日本との費用負担等の課題もあり、引き続きJR東日本と相談してまいりたいと存じます。また、地元との勉強会を継続しながら、情報の共有等に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>(建設部交通政策課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の買い物支援等のためのコミュニティーバスを導入されたい。また、バス停の原則すべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者へ表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。</li> </ul>	<p>高齢者の支援等を含めた交通手段につきましては、地域公共交通網形成計画の中で、検討を行ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、すべてのバス停へのベンチの設置につきましては、設置空間及び財源の確保の課題もあり、困難ではありますが、利用者の多いバス停につきましては、バス停上屋と合せての設置や、地元の協力も頂きながら、今後も取組んでまいりたいと存じます。バス停用地として民有地を提供いただいた場合、これまでも固定資産税の減免等を行っておりますが、表彰制度につきましては、市としての表彰制度はないもののバス事業者が感謝状の贈呈を行った例がありますことから、今後バス事業者に相談してまいりたいと存じます。</p> <p>また、バス停間隔が長い区間へのバス停増設につきましては、バス事業者と相談してまいります。現地の状況により安全面から公安委員会や道路管理者等から同意いただけない場合もございますので御理解願います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動運転の導入をされたい。</li> </ul>	<p>自動運転の導入につきましては、国において、自動運転の実現に向けた取組みの中で、実証実験や、技術の開発等を行っていると同っており、中山間地域における交通手段の確保や、バスをはじめとする交通事業者における運転手不足といった課題解消に効果があるものと考えられます。一方、積雪時の安定走行のほか、緊急時対応や費用対効果の検討等の課題が考えられますことから、国における取組みの動向等に注視してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。市営住宅の保証人制度について住宅困難者が入居できる様、見直しをされたい。</li> </ul>	<p>住宅使用料等の収納率の向上を図り、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して文書催告や、夜間・休日を含めた電話催告及び訪問催告を実施して納付指導を行っているほか、必要に応じて民事調停等の法的措置を講じております。また、市営住宅等退去者滞納家賃等収納業務委託や滞納整理専門員の配置により納付勧奨等を強化しているとともに、平成27年度にはコンビニエンスストア収納の導入により納付機会の拡大を図っているところであり、今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。</p> <p>市営住宅の保証人制度につきましては、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい。</p>	<p>性を確保するためにも保証人は必要であると考えており、平成30年11月13日に開催した盛岡市住宅対策審議会の審議事項としてご意見をいただいておりますが、今後も他都市の動向等を踏まえながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部建築住宅課）</p> <p>土砂災害対策につきましては、県が実施する土砂災害防止工事等によるハード対策と併せ、市といたしましても、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行うとともに、ソフト対策として土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、区域指定された箇所ごとの土砂災害ハザードマップの作成及び配布を行い、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めてまいります。</p> <p>洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく北上川、中津川、雫石川の河川整備事業や、四十四田ダムと御所ダムの洪水調節機能向上を図る北上川上流ダム再生事業に取り組んでおり、また、河川・ダムの適正な維持管理を行っているところでございます。</p> <p>岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域及び盛岡北圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川、北上川（県管理区間）及び松川などの河川改修等の事業を実施しているところでございます。</p> <p>市といたしましても、国や県と連携し、河川整備計画に併せて内水対策を検討するとともに、定期的なパトロールによる状況把握や市民からのご要望を踏まえながら、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川の洪水対策に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部河川課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <p>□ 松川の安全対策を講じられるよう県に働きかけられたい。</p>	<p>松川の安全対策につきましては、県において平成27年9月に策定された盛岡北圏域の河川整備計画に基づき、平成27年度に事業着手し、平成30年度内に工事着手する予定となっております。</p> <p>市といたしましては、松川の事業促進について県へ要望しているところであり、今後も引き続き、統一要望などの機会を捉えながら要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部河川課）</p>